



こうりゅうかい

こどもエコクラブ交流会



『磯の生き物を観察して 生き物マップを作ろう!!』



うみ
～海のいきものとふれあおう～



「こどもエコクラブ交流会」が9月10日（土）釜石市根浜海岸にて開催されました。この交流会は、子どもたちが海を身近に感じる体験プログラムを通じて、生物多様性保全の大切さなどを学びながら、自然保護、海ごみ問題、SDGs など、多面的な環境学習につなげることを目的としたものです。

集まったのは、4～13歳の海の生き物が大好きな子どもたち11名とその家族、総勢17名です。今回子どもたちは、磯で生き物を採集・観察した結果をまとめた「生き物報告書」作りに挑戦しました。

■^{ね ばま}根浜^{じゅんぴ}シーサイドレストハウスで準備

^{あさ}朝9時に^しマリオス（^{もりおかし}盛岡市）^{まえ}前を出^{しゅっぱつ}発し、^{みち}道の^{えき}駅「^{とおのかぜ}遠野風の丘^{おか}」

での^{きゅうけい}休憩をは^{ね ばま}さんで、根浜シーサイドレストハウス（^{かまいし}釜石市）に

^{とうちゃく}到着しました。^{はや}早めの^{ちゅうしょく}昼食をとり、^{じゅうこうどうじかん}自由行動時間を経て13時^しか

^{ね ばまかいがん}根浜海岸での^{たいけんかつどう}体験活動の^{じゅんぴ}準備を^{はじ}始めました。



^こ子どもたちは濡れてもいい^ぬ服や靴に^{ふく くつ}着替えて、^{き が}ライフジャケット

を^{そうちゃく}装着しました。^{ね ばま}根浜シーサイドのスタッフの^{かた}方に、^{しんばい}けがの心配

がない^{くつ}靴か、^ぬ脱げないようになっているかなどの^{てんけん}点検をしていただ

き、^{じゅんぴばんたん}準備万端で^{うみ}海に出^{しゅっぱつ}発！！



■磯の生き物を観察&採集

いざ、生き物観察開始です。箱メガネの使い方を練習し、水温22℃の海へ！！はたして、磯にどんな生き物がいるのか？子どもたちは興味津々です。

慎重に海へ向かう子、一目散に海へ向かう子、シュノーケルをつけて、本格的に海の中をのぞいている子、泳いでいる子など、たくましいライフセーバーさんが見守ってくれているので、みんな安心して、それぞれに生き物探しをしました。



コンクリート護岸の磯で、水中メガネや箱メガネで海底を覗くと、コンクリートの隙間にびっしり生息するイガイの仲間（二枚貝）の間を、小さな魚がスイスイ泳いでいる姿を発見しました！

あちらこちらで「つかまえた！これ何？」「おもしろい生き物が
いるよ！」「こっちにもいる！」などの元気な声が、続々聞こえて
きます。



海体験を補助する支援員の方が、沖へ出て、子どもたちには捕れ
ないような大きなお魚をとってきてくれたので、それを見て、子
どもたちは「おおきい！」とか「なが〜い！」などと歓声をあげて
おどろいていました。

「生き物報告書」を作るために、子どもたちが自分でつかま
え、今日一番のお気に入りの生き物を手にのせて、写真を撮っても
らいました。海からあがって風に吹かれて、体が冷えてしまった子
どももいましたが、タオルで拭いて温まることができました。

これで海の体験は終了。子どもたちは、大自然を満喫し、満足
感あふれる笑顔で記念の全員集合写真を撮パチリ！

■^{い ものほうこくしょ}生き物報告書づくり

^{さいしゅう}採集した生き物は、^{い もの}根浜シーサイドレストハウスに^{も かけ}持ち帰り、
^{とうきょうだいがくたい いかいようけんきゅうじょ}東京大学大気海洋研究所の^{おおつちなお や せんせい}大土直哉先生が^{ひと ひと}一つ一つの特^{とくちょう}徴を、
^{くわ}詳しく^{かいせつ}解説してくださいました。

^み見つかったのは^{ぎょるい}魚類、^{かいりい}貝類、^{び さくどうぶつ}尾策動物のマボヤ、^{きょくひどうぶつ}棘皮動物のキヒ
トデや^{しゅるい}キタムラサキウニなど、なんと30種類あまりで「こんなに
たくさん^{い もの}生き物があるんだ！！」と ^{うみ ゆた}海の豊かさを^{ま あ}目のあたりにし
^こた子どもたちは、^{だいこうふん}大興奮です。



^{さいしゅう}採集した生き物のなかで^{い もの}人間に^{にんげん}近いのは、^{ちか}背骨のある^{せ ぼ ね}魚類、^{ぎょるい}次が^{つぎ}
^{ないそう}内臓がしっかりある^{つぎ}ホヤ、その次がヒトデであることなども^{おそ}教わり
ました。これには、^こ子どもたちのみならず、^{おとな}大人たちや、^{い もの}根浜シー
サイドのスタッフの^{かたがた}方々も、おどろいていました。ホヤの2つの

とつき 突起にあるプラスの形（入水孔）とマイナスの形（排水孔）も
しっかり見分けることができました。

おおつちせんせい せつめい 大土先生の説明は、楽しくわかりやすく、みんなとても熱心に聞
いていました。



そして、「生き物報告書」に、自分が見つけた生き物の写真を貼
り付け、調査報告を記入したあと、大土先生がコメントを入れてく
ださり、世界でたったひとつの「生き物報告書」ができあがりまし
た。「生き物報告書」は、子どもたちにとって永遠の宝物となるで
しょう。



■「みんなでつくる大槌湾マップ」^{おおつちわん}

^{かんせい} 完成した「^い生き物^{もの}報告書^{ほうこくしょ}」は9月22日、大槌町^が赤浜^{にち}にある東^{おおつちちようあかはま}

京^{きようだい}大学^{がくたい}大気海洋研究所^{たいきかいようけんきゅうじょ}「^{うみ}おおつち海^{べんきようしつ}の勉強室^{べんきようしつ}」の「みんなでつ

くる大槌湾マップ」に^{おおつちわん}掲示^{けいじ}されました。^み見^いに行きたいね！！



◇スタッフの感想

当日の天候が大変心配でしたが、晴天にめぐまれました。

今回は、大土先生が採集した生き物について素晴らしい解説をしてくださり、海の生物のことをたくさん学びました。また根浜シーサイドのスタッフの方々のおかげで、釜石根浜の海を安全に体験できました。とても感動的だったことは、子どもたちが、それぞれにいろんな生物を発見し、驚き、生命の尊さや生物多様性の大切さを実感していたことです。

こどもエコクラブ交流会に参加して楽しかったことは？ (アンケートから)

子ども

- いろいろな水中生物を見たこと
- 箱メガネで海の中を見れたこと
- 海の生き物を採取すること
- 大土先生の話を書いたこと
- 力二をつかまえようとしたこと
- 巻き貝をたくさんつかまえたこと
- 貝が多い場所をたくさん見つけたこと
- もぐって貝や海藻をとったこと
- 魚の他にもいろいろ見つけられたこと
- 海で貝を取ったこと
- 海に行けたこと



大人

- 海にもぐって体験したこと
- 海で生き物をさがしているとき夢中になって探したこと
- 自然にふれて遊び、学ぶ事ができたこと
- 先生の話がわかりやすくとても楽しく勉強になったこと
- 「これなんだろうね？」と子ども達と一緒に考えたこと
- シュノーケルをつけて海の中をのぞいたこと

■■■ 岩手県内の環境イベント情報について ■■■

岩手県内で開催されている、野外体験、環境に関わるイベントなどの最新情報は、インターネット上で公開されています。ぜひ、身近な情報をキャッチして、積極的に参加してみましょう。

「いわて環境情報発信サイト・イベントカレンダー」
のHP アドレス

<http://www.iwate-eco.jp/calendar.html>



発行：環境学習交流センター

- ★連絡先 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
いわて県民情報交流センター(アイーナ)5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753 E-mail:eco@aiina.jp
URL: <https://www.aiina.jp/site/environment/>
★開館時間：毎日 9:00～19:00 (休館日は年末年始とアイーナ休館日に準じる)